

2016
Early Summer



医療法人社団 鶴友会の理念

最良の医療・福祉サービスを提供する。
笑顔に満ちた地域の施設を目指す。

CONTENTS

平成28年 熊本地震のご報告

循環器内科部長赴任のごあいさつ

心臓リハビリテーションQ&A

第1回鶴田病院地域医療連携の会開催

平成27年度 熊本県老人保健施設大会

栄養部県優良団体等知事表彰受賞

外来診療担当表

医療法人社団 鶴友会

〒862-0925 熊本市東区保田窪本町 10-112

鶴田病院

介護老人保健施設

メディエイト 鶴翔苑

通所リハビリテーション

訪問リハビリテーション

居宅介護支援センター

訪問看護ステーション

訪問介護ステーション

熊本市東2地域包括支援センター

ささえりあ保田窪

<http://kakuyukai.or.jp>

鶴田病院 鶴翔苑 検索



鶴田病院 公式フェイスブックページ

www.facebook.com/kakuyukai.tsuruta.hp

平成28年熊本地震

ご支援いただいた皆様へ

医療法人社団 鶴友会

理事長 鶴田 克家



この度の熊本地震により亡くなられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

地震発生から1か月以上経過し、様々なことがありましたが、多くの方々にご支援いただき、辛い状況を何とか乗り越えてくることができました。特にライフラインの供給が止まった数日を乗り切れたのは多方面からの支援があったからで心より感謝申し上げます。

おかげさまで当法人におきましては、ほぼ通常通り診療、介護サービスをを行うことができました。また最も私が感激したのは、当法人職員達の献身的な頑張りです。自らも被災しているにもかかわらず、診療、介護サービスを出来るだけ通常通り運営するため、一生懸命頑張ってくれました。この場を借りて感謝の意を表したいと思います。「一人」の有り難さを改めて思い知らされた地震でした。

今回の地震で皆様もなんらかの被害を受けられたと思いますが、1日も早く以前の生活を取り戻されることを願っております。まだ余震が続い

ており、今後も大きな地震が来る可能性があるとのこと。くれぐれも用心されてください。またストレスのため、体調を崩し易くなつていきますので、いつも以上にご自愛ください。

今後も地域の医療、福祉に貢献できるように職員と共に一丸となって頑張つて参ります。ご支援のほどよろしくお願ひ申し上げます。



より一層努力を重ね 医療・福祉を提供

鶴田病院

院長 鶴田 豊



この度、甚大な被害をもたらしました熊本地震により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

今回の地震にて、県内の多くの医療機関・介護施設が大きな打撃を受けております。当法人施設も建物の一部損壊があり、本震にてライフライン（電気・水）も途絶えました。さらに職員の多くが被災者である状況でしたが、本震当日朝より、入院医療継続困難な医療機関からの転院患者の受け入れを行いました。

透析用の水の不足により本震当日は当院も透析不能となりましたが、自衛隊の給水車からの供給で4月17日より透析を再開できました。4月18日（月曜日）より外来診療を再開でき、その後当院の役割である超急性期医療の後方支援と、地域の方の災害医療の一次対応、通常医療を継続してまいりました。この厳しい状況の中で、何とか当法人が医療・福祉を行えましたのも、地域の皆様のご協力と、連携医療機関の皆様のご協力の賜物と心より感謝しております。

現在ではライフラインも物流も回復してきておりますが、まだまだ余震が続いており、未だ多くの方が以前の生

活に戻れない状況です。精神的なサポートも含めて、肺炎などの感染症や持病の悪化など、長期的な問題が起こっております。また復旧・復興にも長い時間を要すると考えられます。そのような中で地域の皆様以前同様医療・福祉を提供すべく、当法人もより一層の努力を重ねてまいります。今後とも引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。





当法人における地域活動報告

ささえりあ保田窪



被災直後より、担当高齢者の安否確認と一人暮らしの方の自宅訪問を実施、その後圏域の避難所すべてを毎日訪問し、実態把握と健康状態のチェックを行いました。

避難所は混乱しており、今後の生活や精神面の不安等の相談が多く上がり、住まい・災害ボランティア・罹災証明の情報提供や行政、東区包括連携のもと必要箇所への物資提供を実施しました。

また、エコノミークラス症候群予防の為、鶴翔苑リハビリスタッフと他事業所スタッフ協同で体操やマッサージを実施してもらいました。

現在も自宅に戻れず避難所で暮らしている方も多く、安心して生活が送れるよう支援しています。今回の被災体験から出てきた地域の課題をもとに地域包括ケアでの仕組み作りに生かしていきたいと思えます。

訪問看護ステーション

被災直後は人工呼吸器及び在宅酸素療法の利用者さんの適切な電気や酸素の確保状況の確認や在宅酸素業者への酸素ポンペの依頼を行いました。

また、独居の方の安否確認（電話又は訪問）や、避難所に行く事ができない利用者さんへの水や食料の供給、さらに倒れた家具等がある利用者さん宅へ訪問し、とりあえず生活できるような動線の確保をお手伝いしました。

さらに、介護や医療度の高い利用者さんは入院ショートステイ場所の手配をしました。

自宅が半壊し在宅が困難な利用者さんの相談や必要な福祉サービス事業所への情報提供をしました。また、避難場所への訪問実施もしております。

現在もなお、生活の場が安定しない方もいらっしゃるため精神面の支援も心がけております。

居宅支援事業所

震災直後、ご利用者様の安否が懸念され、電話連絡及び高齢者世帯や独居の方の訪問を行い、ご本人様の体調や被災状況の確認を行いました。

避難所へ避難されていたご利用者については、ショートステイや有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅及び老健入所や避難所での福祉用具貸与等ご相談、支援をさせて頂きました。本震災後は避難所生活だった方も最終的には1名となり、県内外避難や入所中の方もまだ数名おられますが徐々に通常の生活に戻りつつあります。

今回の震災で、法人内地震対策チーム連絡網の活用が有効だった事、また、指定避難所の情報把握などの地域包括支援センターや地域支援者との連携ができた事、さらに福祉用具貸与事業所による被災されたご利用者支援など、様々な方にご協力を頂きましたことに深く感謝致します。まだまだ課題も沢山ありますが、早い段階での正確な情報収集や情報発信の重要性を鑑み、今後の災害への取り組みの糧としていきたいと思えます。

ご支援ありがとうございました。

この度は、当法人に対し多くの皆様よりさまざまなご支援をいただきました。

鶴友会といたしましては、今後とも信頼される地域に根ざした医療機関・福祉施設として、地域の医療、福祉サービスを支えてまいる所存でございますので、引き続きご支援、ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

本来であれば、拝眉の上御礼を申し上げるべきところではございますが、先ずは本誌をもって厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。



赴任の「あいさつ」

循環器内科部長

田中 朋子

4月1日から赴任しました田中朋子です。これまでは主に急性期病院で循環器診療に携わってききました。しかし、急性期加療を終え、退院したものの喫煙、怠業、食生活の乱れなど、生活習慣の悪化で再入院を繰り返すことを度々経験し、急性期医療だけでは不十分であることを認めざるを得ませんでした。医師12年目になって、心臓リハビリテーションに出会い、疾患を治すだけでなく、全人的医療と予防医学の大切さを学びました。今までの経験を生かし、また最近の知見を取り入れながら、地域医療に少しでも貢献できるように努めます。



心臓リハビリテーションQ&A

Q1 心臓リハビリテーションって何ですか？

A1 心臓リハビリテーションとは、心疾患の再発を繰り返さないように必要な知識を身につけ、運動の他に食事・服薬・禁煙指導・ストレスへの対処などで生活習慣を調整し、生活の質の向上と再発予防をはかるプログラムのことです。



Q2 実際にどんなことをするのですか？

A2 運動は、誤った方法・負荷量で行うと心疾患が悪化することがあります。当院では患者さんに適した内容や体調に合わせて運動を行います。歩行やエルゴメーターなどの有酸素運動に加え、体の柔軟性の向上、筋力増強も行います。また、起きる・座る・立ち上がる等の基本的な動作も併せて行っていきます。

Q3 心臓を患っているのに、運動をすることに危険はありませんか？

A3 リハビリスタッフの監視下で運動を行います。つらく感じる運動ではなく、「楽である～ややきつい」と感じる程度で行います。例えば、運動しながら会話がができる程度です。過度の運動は良くありません。適切な運動がよいのですが、「適切」とはどのくらいなのか実際に体験することができ、運動の習慣化につながるよう指導します。自宅でのどのくらい体を動かしても大丈夫なのか、「このくらいであれば動いても良い」と自信が持てるよう、医師・リハビリスタッフが運動指導を行います。心疾患をお持ちの方が運動療法を行わないまま日常で生活されると、再発の危険等が高いといわれています。

以下のような効果があります。

- 1) 運動能力・体力の向上、心不全症状の軽減。
- 2) 筋肉量が増えて楽に動けるようになり、心臓への負担が減る。
- 3) 心臓病患者に多い精神的不安定(うつ状態)を改善する。
- 4) 血管が拡張しやすくなり、身体の血液循環がよくなる。
また、高血圧が改善する。
- 5) 心不全の長期予後:心事故(死亡・再入院)減少。
- 6) 運動を行うと仕事や家庭生活、社会生活の満足度が高くなる



病気の再発を防ぎ、より良くすることが可能であり、健康的な生活を維持することが出来ます。

Q4 どうすれば心臓リハビリテーションを受けることができますか？

A4 当院では、外来患者様を対象とした心臓リハビリも実施しております。対象疾患が定められていますので、当院循環器科を受診・ご相談して下さい。





第1回 鶴田病院地域医療連携の会を開催しました

地域医療連携の会プロジェクトチーム 地域連携・相談支援センター 古澤龍一



2月27日(土) ホテル熊本テルサにおいて、当院初めての試みとなります「第1回 鶴田病院地域医療連携の会」を開催しました。当日は当院が連携している59の医療施設や介護事業所などから合わせて162名の参加がありました。初めに主催者である理事長鶴田克家の開会挨拶の後、「患者・家族の思いに応えるがん医療連携とは?」をテーマにパネルディスカッションを行いました。コーディネーター役として熊本赤十字病院血液・腫瘍内科部長 吉田稔先生、ひまわり在宅クリニック院長後藤慶次先生の進行の元、熊本大学生命科学研究部消化器外科学講師吉田直矢先生、コーディネーター役もお勤めいただいた吉田稔先生、当院院長鶴田豊、最後に清藤クリニック院長清藤千景先生の4名のパネリストから日頃の診療で実践されていること、課題等についてご発表頂きました。次いで会場も交え、我々医療介護従事者の果たすべき役割と患者・家族の思いをつなげる為に工夫していることなどについて活発な意見交換も行われました。がん特有の治療期、回復期、生活期、終末期それぞれの段階で意識しなければいけないことなど再確認でき、大変多くの示唆に富む内容となりました。その後鶴田病院からのご報告と題し、理事長鶴田克家より当院の診療実績や今後の目指す方向性などをご紹介致しました。

第1部終了後に同会場で開催しました意見交換会にも多くの方が参加され、当院スタッフも一緒に和やかな雰囲気の中にも真剣な意見交換ができたようです。ご参加いただきました皆様にはこの場をお借りしてお礼申し上げます。

平成27年度 熊本県老人保健施設大会で優秀賞を頂きました!

2月5日(金) 熊本テルサにて「平成27年度 熊本県老人保健施設大会」が行われ、鶴翔苑からも5演題を発表致しました。この中で、村橋和子音楽療法士の演題発表が、見事、優秀賞を頂きました。他の4演題も高い評価を頂きました。

他施設の取り組み等を参考にし、今後もより質の高いサービスの提供に努めていきたいと思っております。



大家華子(通所リハビリテーション/介護福祉士)

「いくつになってもチャレンジャー」～「学び帳」のアンケートから見えてきたもの～

尾山卓哉(リハビリテーション科/理学療法士)

「リハビリ満足度に関するアンケート調査の考察」

中村綾花(リハビリテーション科/理学療法士)

「退院直後の在宅再建期を通所リハにて支える」

～経時的変化に伴う段階的アプローチ～

村橋和子(音楽療法士)

「コミュニティ音楽療法について-第2報-」～介護予防からグリーフ・ケアまで～

米本寿子(歯科衛生士)

「老健における歯科衛生士(DH)の役割」～お口は健康(心身)の入口～

第4回 鶴田病院がん診療・緩和ケア地域連携研修会

3月25日(金)、当院にてがん診療・緩和ケア連携研修会を開催致しました。熊本市内外でがんリハビリに携わっている医療スタッフ40名(※後述)にご参加頂きました。

院長より「がんリハビリテーション提供の現状と問題点」についての報告後、職種毎にグループワークを実施。がんリハビリの課題や現状について、熱心に意見交換が交わされました。「充実した議論だった」、「また開催して欲しい」等のご意見を頂きました。

※参加医療機関…14施設(医師5名、看護師11名、理学療法士16名、作業療法士4名、言語聴覚士3名、MSW1名)



「てづくりおやつ集」 完成しました！

栄養部では毎日のおやつ、行事食、イベントにて皆様に喜んでいただけるよう、季節に合わせたデザートづくりを行っております。1年間の取り組みをまとめた写真集「てづくりおやつ」を4月上旬に発行しました。おやつ集に掲載していないデザートのレシピ



も随時「栄養部ブログ-美味しい生活」にて更新していきたくと思っています。

栄養部ブログ「美味しい生活」
<http://kakuyuukai.or.jp/eiyou/>



熊本県優良特定給食施設として表彰されました。

3月8日(火)、当法人栄養部は「優良特定給食施設」として、平成27年度熊本県医事・薬事・健康づくり功労者及び優良団体等知事表彰を受賞しました。

同表彰は県民の健康増進等に寄与した個人や団体等に贈られるもので、当法人栄養部が委託から直営となり約4年での受賞となりました。受賞基準は下記のとおりです。



受賞基準

- ・合理的な給食管理組織が確立されており、円滑な運営がなされていること。
- ・給食業務の合理化及び喫食者の栄養指導が適切に行われていること。
- ・喫食者中心の給食に配慮していること。
- ・施設及び設備が整備されており、食品衛生監視成績が過去3年間85点以上あること。

安心安全な食事作りを目指し、地産地消での仕入れ、泥付き野菜からの下処理、だしや野菜スープ、ぬか漬け、梅干し、デザートなどを手作りし、冷凍食品や加工食品を使わないように心がけています。

また、委託から直営となった平成24年より刻み食を廃止し、「やわらか食」を開始しました。肉や魚など、酵素液や圧力鍋を使用し、普通食と見た目をあまり変えずに調理し、食べやすい食事を提供するために様々な工夫をしています。

今後も患者様、利用者様により良い食事が提供できるよう、スタッフ一同取り組んでいきます。

鶴友会で“やりがい”見つめませんか。

職員募集の お知らせ



ホームページ
からも
応募可能です！

鶴田病院

介護士

メディエイト 鶴翔苑

看護師・准看護師(入所・通所)

介護士(入所)

その他の職種の募集、各種制度(支度金、奨学金)などについても、お気軽にお問合せください。

お問い合わせ先

人事採用担当:管理部 杉本
Tel:096-382-0500

Mail:turuta-hp@kakuyuukai.or.jp



ヘルシークッキング

あじ 鱈のなめろう

●材料(4人前)

- 鱈(刺身用).....200g
- 生姜.....1かけ(20g)
- しその葉.....4枚
- こねぎ.....適量

- みそ.....大さじ1と小さじ1(24g)
- A 醤油.....小さじ1弱(4g)

《飾り用》

- しその葉.....4枚
- みょうが.....3ヶ(30g)

●作り方

- ①鱈をまな板にのせ出刃包丁で荒くぎざみ、好みでさらにたたく。
- ②生姜はみじん切り、しその葉は細切り、ネギは小口切りにして順に①に加えたき混ぜる。さらに混ぜ合わせたAの調味料を加え好みの固さにたたき混ぜる。(薬味を入れてからあまりたたかない)
- ③飾り用のみょうがは細く切り、水にさらしておく。
- ④しその葉を皿に敷き、②を盛る。上にみょうがを飾る。



「鱈のなめろう」を形成しフライパンで両面焼くと「さんが焼き」になります。

エネルギー 1人当たり:76kcal 塩分 1人当たり:0.9g



平成27年度 鶴田病院診療実績 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

手術		
手術名		件数
外科手術	腹水濾過濃縮再静注法 (CART)	117
	ヘルニア修復術 (鼠径・大腿・腹壁瘢痕) (内 腹腔鏡)	42 (39)
	胆嚢摘出術 (腹腔鏡下・開腹)	7
	四肢・軀幹軟部腫瘍摘出術	1
	腹腔鏡下試験開腹術	1
	痔核手術	1
	胃瘻造設術	7
	内視鏡手術	44
内視鏡手術	内視鏡的ポリープ切除・粘膜切除術 (胃・大腸)	8
	内視鏡的胆道ステント留置術	8
	内視鏡的消化管ステント留置術	8
	その他内視鏡的消化管手術	22
泌尿器手術	上部尿路系手術 (腎・尿管)	1
	下部尿路系手術 (膀胱)	3
	前立腺手術	1

患者数、健診・ドック、内視鏡、治療、リハビリ		
項目		件数・単位
外来患者数	延外来患者数	26,172
	延実患者数	12,260
入院患者数	延入院患者数	34,212
健診関連	事業主健診	659
	生活習慣病予防検診	731
	人間ドック	413
内視鏡検査	上部消化管 (胃)	1,493
	下部消化管 (大腸)	366
治療	温熱療法	1,248
	化学療法	131
リハビリテーション実績 (1日平均単位数)	運動器リハビリテーション	151.9単位
	呼吸器リハビリテーション	13.9単位
	脳血管疾患リハビリテーション	106.6単位
	心大血管疾患リハビリテーション	14.8単位
	がん患者リハビリテーション	34.8単位
	緩和ケア病棟リハビリテーション	17.8単位

平成27年度 メディエイト鶴翔苑利用実績 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

項目		件数		
入所 (定員61名) ※短期入所は 空床利用	延利用者数		18,109	
	在宅復帰率		58.6%	
	稼働率 (短期入所含む)		91.4%	
	入所者数	在宅	41	87
		鶴田病院	31	
		他病院	15	
		社会福祉施設等	0	
	退所者数	在宅	33	90
		鶴田病院	19	
		他病院	7	
特養		8		
社会福祉施設等		16		
	死亡	7		
短期入所	延利用者数	2,240		
通所リハビリ	延利用者数	19,144		
訪問リハビリ	延利用者数	55 (※)		
居宅	延利用者数	2,082		
訪問看護	延利用者数	介護	4,082	
		医療	2,243	
訪問介護	延利用者数	5,544		

(※)訪問リハは平成27年10月開始



外来診療			
		受付時間	診療時間
平日	午前	8:40~12:00	9:00~13:00
	午後	13:50~17:30	14:00~18:00
土曜日		8:40~12:00	9:00~13:00



連絡先
TEL 096-382-0500(代表)

※土曜日は午前中のみの診療です。
 ※急患は必要に応じて対応いたします。
 ※手術・病棟診療・週などによる変更が発生する場合があります。

診療科	時間帯	月	火	水	木	金	土
外科	午前	鶴田 豊	山口祐二	鶴田 豊	山口祐二	鶴田 豊	山口祐二 1・3週
	午後		鶴田 豊				
胆石・鼠径ヘルニア外来	午前	鶴田 豊	山口祐二	鶴田 豊	山口祐二	鶴田 豊	鶴田 豊 2・4週
	午後		鶴田 豊				
腹水外来	午後	鶴田 豊	鶴田 豊	鶴田 豊	山口祐二		
循環器内科	午前	尾畑憲司 田中朋子	尾畑憲司	田中朋子	尾畑憲司	尾畑憲司	田中朋子 1・3・5週 藤末昂一郎 2週
	午後	尾畑憲司					
消化器内科	午前	鶴田克家		鶴田克家		鶴田克家	鶴田克家 2・4週
	午後						
内科	午前	鶴田克家 尾畑憲司	尾畑憲司	鶴田克家 田中朋子 鶴田克家 (新患のみ)	尾畑憲司	鶴田克家 尾畑憲司 鶴田克家 田中朋子	鶴田克家 2・4週
	午後						
整形外科	午前	平井康裕	平井康裕	平井康裕		平井康裕	平井康裕 1・3週 (予約制)
総合診療科	午前		鶴田克明		鶴田克明		
泌尿器科	午前		西 正夫4週	川畑幸嗣	川畑幸嗣	川畑幸嗣	川畑幸嗣 1・3週
	午後	川畑幸嗣					
内視鏡	午前	山口祐二	鶴田克家	平江麻衣 山口祐二1・3・5週 鶴田克家2・4週	鶴田克家	山口祐二 (鶴田克家) 鶴田克家	山口祐二 1・3週 鶴田克家 2・4週
	午後						
緩和ケア外来	午前・午後	予 約 制 (上妻精二)					
温熱療法外来	午前・午後	予 約 制					